

競技注意事項

- 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項により実施する。
- 招集について
 - 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、チェックを受ける。その後、役員の誘導に従い競技場に入場する。（招集所は100mスタート地点後方避難タワー下、投てき競技は競技実施場所）
 - 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始30分前	競技開始20分前
投てき	競技開始30分前	競技開始20分前
跳躍	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

※ 競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、チェックを受けること。

- 招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。（ただし、多種目に出場中は代理でも可）
- リレーのオーダー用紙は当該種目、第1組目の招集完了時刻1時間前までに、招集所に提出すること。オーダー用紙は招集所に準備する。
- 同時に2種目以上出場する競技者は、代理人が招集時に競技者係に申し出ること。
- 番組編成について（レーン順・試技順）
トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。
- トラック競技について
スターターの合図は英語とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。
- アスリートビブスについて
 - アスリートビブスの番号は、2024年度の日本陸連登録番号とし、各自で作成し胸背部に確実に付ける。
トラック競技の腰ナンバーカードは主催者が準備する。
 - 跳躍競技の出場者は胸背部のいずれか一方のみでよい。
- 競技場は全天候舗装である。競技用靴の靴底の厚さについては、シューズに関する競技規則を適用する。ただし、フィールド競技用シューズの靴底の厚さについての規則については適用外である。
- 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下表の通りとする。

種目・区分	種別	練習	試 技							
			1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	以降3cmずつ
走高跳	男子	共通	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	以降3cmずつ
	女子	共通	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以降3cmずつ
棒高跳	共通	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	以降10cmずつ		

※ バーの上げ方は、天候等特別な状況が生じた場合、審判長の判断で変更することもある。

- 男子三段跳の踏切板は、9mとする。
- ハードル競技のインターバルについて

性別	種目	ハードルの高さ	インターバル			ハードル台数
			スタートから1台目	ハードル間	最終ハードルからゴール	
男子	110m H	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	100m H	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
女子	100m H	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	80m H	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台

- 練習は、第二陸上競技場、屋内走路（雨天時のみ開放）で行うこと。
ただし、砲丸投は、競技開始60分前から本競技場砲丸ピットで行うこと。（投てき場での練習を禁止する。）
砲丸投に参加する競技者は、第1ゲートから入場し、投てき審判員の指示で、フィールドに入ること。
- 使用器具は、競技場備え付けのものを使用すること。
- 投てき種目の砲丸の重量は、男子が5.0kg、女子が2.72kgとする。
- リレーのユニホームは、同系色とする。
- 競技終了後、閉会式を行う。
- 本大会で標準記録に到達した者は、全日本中学校陸上競技選手権大会に出場できる。
- 更衣室は、更衣の利用のみとする。更衣は速やかに行い退出すること。
- 競技結果等については、宮崎陸上協会 Mobile サイト (<https://www.miyariku.org/maaf/mobile/>) に掲載する。
また、競技場正面玄関前にも掲示する。